



# 官民一体となって創りあげる わが街 くまもと

社会福祉法人慶信会 くまもと障がい者ワーク・ライフサポートセンター縁 就業支援ワーカー 原田文子

熊本市 健康福祉局 障がい者支援部 障がい保健福祉課 企画調整班 小山恭正

# 本日の内容

---

- 自己紹介
- くまもとのチカラ
- 最後に

# 自己紹介 — 縁 —

---

- 縁は、「就業・生活支援センター」です
- 「就業・生活支援センター」は、障がいのある方々の『働くこと・暮らすこと』の両面を一体的に応援しています
- そして、『地域のネットワークづくり』にも、取り組んでいます

# くまもとのチカラ ーはじまりー

---

- 平成20年度より始まった、「障害者自立支援協議会・就労部会」が行政機関と、同じテーブルで顔を合わせた初めての機会
- けれど・・・その後、特に大きな連携はなく・・・
- 平成23年度に、当センター長が就労部会の部会長を務めさせていただいたことをきっかけに、当センターが熊本市と一緒に事務局を担当する
- それから、就労部会を通して、熊本市との連携が始まる

# くまもとのチカラ ー就労部会ー

- 平成23年度から作業班をつくり、各班のリーダー・サブリーダーを中心に、1年間で達成できる目標を掲げ、成果を残す

## 《熊本市との協力》

- 「しごといくvol.1～6」の冊子等の予算を調達
- 熊本市のホームページに「部会のホームページ」をリンク
- 熊本市障がい者プラン中間見直しの際に、部会での検討結果を市長へ報告
- 熊本市、はーとアラウンドくまもとと協力し「おとなりマルシェ(販売会)」を開催
- 1年に1度、部会全体の取り組みとして「就労フェア」を開催。その中で、熊本市と協力し「障がい者サポート企業」の表彰式を行う

# 自己紹介

## — 熊本市障がい保健福祉課 —

---

- 熊本市が行っている就労支援に関する取り組み
  - 1 熊本市障がい者自立支援協議会就労部会
  - 2 就労継続支援A型事業所サポート事業

# 1 熊本市障がい者自立支援協議会就労部会

---

- (1) 熊本市障がい者自立支援協議会について
- (2) 就労部会について
- (3) 就労部会の班構成・取り組みについて

# (1) 熊本市障がい者自立支援協議会とは

## 本会議 (年4回:5月/8月/11月/2月)

### 【本会議の機能】

委託相談支援事業者の中立性・公平性の確保のための処遇方策のあり方の協議

地域の関係機関によるネットワークの構築等

各部会の進捗管理・評価(検証)

障害福祉計画策定時の意見聴取

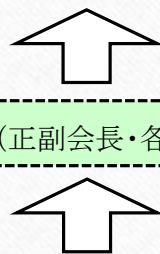
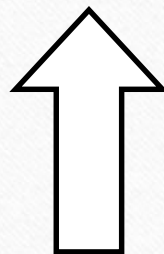
困難事例への対応のあり方の協議

地域の社会資源の点検及び開発

各種施策への提案、提案の施策への反映状況調査

当事者意見の積極的聴取

- 進捗状況の報告
- 困難事例の報告
- 地域的課題の提起(抽出)
- 検討結果の報告 など



運営会議(正副会長・各部長会議)



- 進捗状況の管理・評価
- 困難事例の共有・検討
- 地域的課題の対応策の検討依頼
- 検討結果の報告内容の協議・承認

## 専門部会 (毎月)

就労部会

子ども部会

相談支援部会

精神障がい者  
地域移行支援部会



## (2) 就労部会とは

熊本市障がい者自立支援協議会において、『障がい者の「地域で働きたい」を実現させる』ことを目的に平成20年度に設置。

毎月1回、相談支援事業所、就労移行支援事業所、就労継続支援事業所(A型・B型)、支援学校、ハローワーク、障害者職業センター、各種専門機関、当事者会、家族会、医療機関、企業などのたくさんの機関が障がいのある方の就労支援について協議等を行っている。

### 〔設置後の活動(直近3年間)〕

年度	活動内容
平成27年度	「しごといくVol.4」作成、企業セミナー開催、一般就労への道筋マップ作成、A型事業所自己評価表作成、内覧会・商談会開催、当事者の夢実現(ネットラジオ放送)、当事者発信の研修会開催、各施設を紹介する「施設プラグ」開設、就労部会の取組紹介ホームページ開設
平成28年度	「しごといくVol.5」作成、就労フェア(企業セミナー、障がい当事者との対話型セミナー等)、障がい者施設商品販売会・商談会開催、熊本市障がい者サポート企業・団体啓発、おでかけフラット(当事者目線での福祉事業所体験・取材)、就労部会ホームページ管理
平成29年度	「しごといくVol.6」作成、就労フェア(企業セミナー、障がい当事者との対話型セミナー等)、障がい者施設商品販売会(おとなりマルシェ)・商談会開催、熊本市障がい者サポート企業・団体啓発、夕方フラット・おでかけフラット(当事者目線での福祉事業所体験・取材)、就労部会周知

### (3) 就労部会の班構成・取り組み

#### 当事者対話班

- ・ネットラジオ作成
- ・当事者視点の支援利用ガイド(ふくしのしおり)作成
- ・夕方ふらっと(交流会)、おでかけふらっと(福祉事業所巡りと取材)

#### 研修班

- ・ 就労フェアの企画
- ・ 部会内のミニ研修
- ・ 事例検討企画

#### 企業就労班

- ・ 「しごといくVol.7」の制作
- ・ 企業就労を促進するためのツールの作成、啓発活動
- ・ 熊本市障がい者サポート企業・団体の啓発、ネットワーク作り

#### 事業所ネットワーク班

- ・ 防災マニュアルの作成
- ・ 販売会
- ・ 新規事業所のフォローアップ、事例検討

#### 給与工賃うるおい班

- ・ 商品開発
- ・ 障がい者施設商品や役務の広報
- ・ 共同受注のシステム作り
- ・ 障がい者施設商品販売会(おとなりマルシェ)の開催

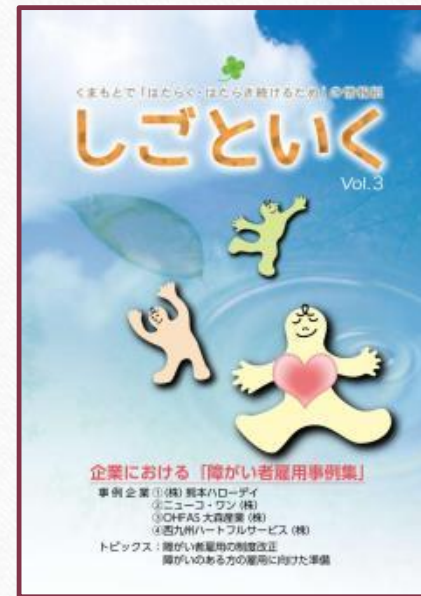
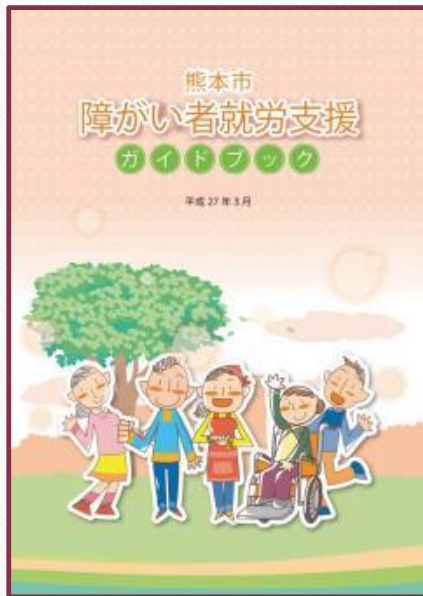
#### Be助っ人班

- ・ 就労部会のホームページの管理運営・周知活動
- ・ 就労フェアの広報活動

当事者対話班が当事者の視点で各班の活動についてフィードバックを行う

## ①製作物・施策に関する提案等

- ・ 熊本市障がい者就労支援ガイドブック(H23～27)
- ・ はたらく・はたらきつづけるためのハンドブック(H23) ・しごといく(H24～)
- ・ 熊本市障がい者プラン中間見直しに対する検討結果報告(H26)
- ・ A型事業所までの道のりマップ(H26)
- ・ 施設プラグ(熊本市内の就労系サービス事業所情報)(H27)



## ②就労フェア

障がい者の就労について考える機会として、研修やセミナー、展示、障がい者サポート企業・団体認定式などを開催。

- 平成27年度のテーマ「障がいと仕事を考える」
- 平成28年度のテーマ「みんなのはたらくカタチ」
- 平成29年度のテーマ「この街ではたらく」
- 平成30年度のテーマ「障がいのある人もない人も、ともにはたらける熊本市へ」

熊本市障がい者自立支援協議会 就労部会  
しゅうろう  
**就労フェア**  
障がいともごとを考える

講演会「障がいのある方の企業就労と職場定着  
～株式会社総合プラントの取組～」  
9:40～11:00  
しごとアラブシステム体験 11:00～16:00  
障がい福祉サービス事業所とのく結び会議会  
11:30～14:30  
障がい当事者発信研修会 14:00～16:00

日時：2016年2月23日(火)  
9:30～16:00 (9:00～受付)  
会場：ウェルパルクまもと  
大会議室  
参加費：無料  
お申込：事務局「緑」まで、FAXをお願いします。  
FAX番号：096-288-0501  
(事務局：くまもと障がい者ワーク・ライフサポートセンター「緑」)

就労フェア 2017 みんなのはたらくカタチ  
2017年 2.10(金) 10:00～17:15  
会場：ウェルパルクまもと  
入場無料

当日のイベント  
おとなりマルシェ(物産会)  
企業セミナー  
商談会  
障がい当事者発信研修会

この街ではたらく 就労フェア 2017  
12月8日(金) ウェルパルクまもと 大会議室  
定員100名  
入場無料

10:00 午前中ふらっと  
12:30 受付  
13:00 開会  
13:15 障がい者サポート企業・団体認定式 表彰式  
14:00 展示会・共同受注説明  
14:20 障がい者就労セミナー  
16:00 閉会  
\*展示ブース観覧(17:00終了)

お申込：事前に必要事項をご記入の上 FAXにてお申込ください。  
FAX番号：096-288-0501

第4回就労フェア -このまちではたらく-  
障がいのある人もない人も、  
ともにはたらける、熊本市へ  
2019年1月18日(金)  
10:30～16:30 (受付10:00～)  
会場：ウェルパルクまもと大会議室  
定員120名  
入場無料

10:00 受付  
10:30 開会あいさつ  
10:40 はたらく障がい者の発表  
11:10 展示・商談会  
12:00 休憩  
13:00 企業セミナー  
14:40 障がい者サポート企業・団体認定証交付・表彰式  
16:30 閉会

お申込：事前に必要事項をご記入の上 FAXにてお申込ください。  
FAX番号：096-288-0501

## 2 就労継続支援A型事業所サポート事業

---

- (1) 障がい者施設商品販売会「おとなりマルシェ」の開催
- (2) 事業所の職員を対象とした研修会の開催
- (3) 広報活動支援

## (1) 障がい者施設商品販売会「おとなりマルシェ」の開催

障がい者施設でつくられた商品の展示・販売を行う機会として、市内の繁華街であるびふれす広場で「“つくる・つながる・ひろがる”おとなりマルシェ」を平成28年度からは一とアROUNDくまもとと協力して開催。

販売する商品を介して、障がい者施設の取り組みや、働く障がい者に対する社会の理解を広げ、障がいのある人の自立と社会参加を支援するとともに、商品の販路拡大及び売上増加を図っていく。



※平成28年度は1回開催、平成29年度は5回開催、平成30年度は9回開催予定。



### (3) 広報活動支援

障がい者施設の商品カタログの製作・配布、HP等による広報活動及び店舗販売、役務のPRを通じて、障がい者に対する理解を深めるための啓発活動を行っている。



障がい者施設の商品カタログ



障がい者施設商品の  
アンテナショップ  
「UMU(うーむ)」



## 市役所ロビーでの役務の展示



## 食品等の箱詰め承ります。

レトルトカレーの辛口と中辛を化粧箱にセットし、ギフト用の詰め合わせを作るお仕事です。

- ① 食品メーカーから送られてきたレトルトカレーは辛口・中辛の種類ごとに数をチェックします。



- ② ギフト用ボックスを組み立てる人、レトルトカレーを詰め合わせる人と、手分けして作業にあたります。



- ③ ギフト用ボックスを閉じる前にはミスがないか必ず二重チェックを行います。



受託先：NPO法人ゆうステーション熊本 ゆうワークス(地方創成支援A型/地方創成支援B型)  
 熊本府中央区早成3丁目7-10 TEL:096-285-7931  
<https://www.facebook.com/ゆうステーション熊本-802267389766597/>

### 【はたらく仲間の声】

K・Tさん  
 流れ作業なので、声をかけあいながら進めるように心がけています。声かけと同時に周りの人のやり方を見て、「そのやり方がいいな！」と思ったら、まねすることもあります。やりがいですか？あります。自分でできることを仕事にしてお金をもらっていますから。次回のお給料が出たら、絵が好きなので美術館に行きたいと思っています。



### 【支援員の声】

黒田 昂平さん  
 お仕事をいただいたら、まずはスタッフで完成までの流れを確認し自分たちでやってみます。そして、利用者さんに説明し、利用者さんの意見を取り入れながら実際の作業を進めます。作業にあたり衛生キャップを必ずかぶるようにしていますが、利用者さんから「この作業には手袋が必要です」と言われることもあります。そんなとき自らプロ意識を持って仕事に向き合っていたらいいと感じ、うれしくなります。



# くまもとのチカラ ーはーとアラウンドくまもとー

---

- 利用者の工賃・賃金アップや障がい者の社会参加を促進することを目指す、福祉事業所の団体
- 共同受注や共同商品開発・販売等の活動に取り組んでいる

## 《熊本市と協力》

- 「おとなりマルシェ」を開催

# くまもとのチカラ —A型ミーティング—

---

- はじまりは、A型事業所を愛する施設長の思いから！
- 就労部会で、活動班をつくるが継続できず・・・
- あきらめきれない施設長から、ささやかれる・・・「A型事業所の集まる機会を作りたい」
- 平成28年11月・第1回の「AMT」を開催。15事業所・21名の参加者とお互いの事業所を知ることから始まる
- 現在、3ヶ月に1度、区ごとに開催を担当し、継続中。

# くまもとのチカラ —A型ミーティング—

---

## 《熊本市との協力》

- 第3回目から、熊本市が参加。よりよいA型事業所について、行政機関とともに考える
- 熊本市役所の場所を借りながら、意見交換会や勉強会をしている
- 意見交換で出された事業所の希望を実現（展示会の開催）
- 懇親会も一緒に♪

# くまもとのチカラ —まだまだあります—

- KP5000 (くまもと5000プロジェクト) の活動
    - ・福祉に関する情報の集約と発信等をしている
- 《熊本市との協力》
- ・有志の活動を、熊本市がバックアップ！
  - ・各部会や区役所との橋渡しをしていただく

- 余暇活動

フットサルや野球、サイクリングなど、仕事以外でも、一緒に楽しむ♪



# これからの希望

---

- あの人がいなくなっても、続けられるかな・・・
- そんな不安がなくなるように、思い描く自分たちのまちを、共有していきたい
- 立場が違おうと、想いも違おうかもしれませんが、まずは、話し合える関係作りから！

## 秘訣（事業所側の視点）

---

- まずは、予算がなくても、自分たちで、やりたいことは、できることからやる。それを、行政機関に認めてもらう！
- 自分たちがやりたいことを訴えるだけでなく、行政機関のやりたいことにも、耳を傾けて一緒にできることはないかを考える！

## 秘訣（行政側の視点）

---

- 限られた予算の中で、最大の効果を出すために、事業所のみなさんの声に耳を傾けて、何が必要なのか、何ができるのかを 一緒に考えること。（双方向の意見交換が大事）
- 事業所のみなさんと考えたことに対しては、一緒に協力しながら実行に移すこと。



# 熊本から、みなさんへ♪

---

いま 一緒に 仕事ができている人との出会い  
『奇跡だなあ』と 感謝しています。

その人と 今しかできないこと が きっとあります。

まずは 語り合うことから 始めてみませんか(^^) /



ご清聴ありがとうございました(^-^)

当たり前にはたらき、熊本でくらししていく為に

～共同受発注に向けた取り組み～

はーとアラウンドくまもと

どんな社会にしたいのか

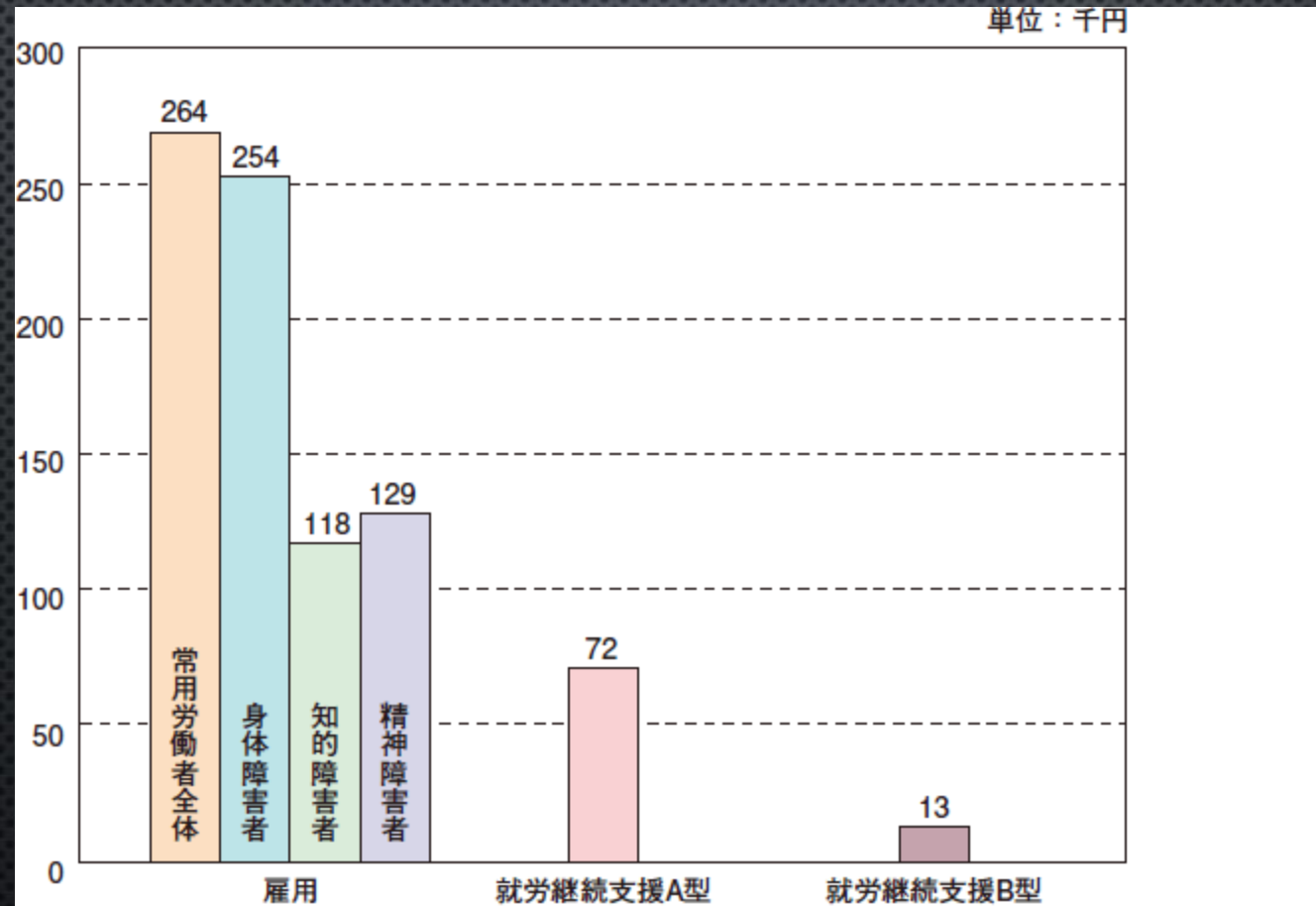
障害のある人が、障害のない人と同じように

生きる事が出来る公平な社会

# 日本の現状

- 2014年に障害者権利条約に批准
- 障害のある人の55%が月額9.2万円以下の収入
- A型事業所の利用者工賃に訓練等給付費が充てられなくなった

# 障害者の半分以上が月収 9.2万円以下



資料：「常用労働者全体」：厚生労働省「毎月勤労統計調査」（平成23年12月）

「雇用」：厚生労働省「障害者雇用実態調査」（平成20年）

「就労継続支援B型事業所」：厚生労働省「工賃（賃金）月額実態調査」（平成22年度）

## 就労継続支援 A 型事業とは・・・

- 一般企業等での就労が困難な障害者に対し、雇用契約を結んで働く場を提供します。
- 併せて、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練などの支援も提供します。
- 雇用契約を締結した者は、労働基準法等労働関係法規等の適用を受ける「労働者」に該当します。

本来は一般就労に導く支援が必要ではないか！



企業からの委託事業により企業  
から求められるスキルの獲得

職業リハビリによる支援＝障害  
があっても働く事ができる環境  
をつくる

# 不平等な労働を強いられている



# 企業から受けている下請作業の内容と実態



# 下請作業の工賃が仲間の時給を下回っている場合

企業



作業工賃

本来企業からもらわな  
仲間の人件費を施設側が  
になっている。

結果的に **利用者の給料**は最低賃金除外申請  
を労働基準監督署に行い、**低く**しなければ  
なくなる。

**職員の給料**、**設備の新設**の費用も低くなり  
人材確保や施設運営が**厳しい状態**になる。

さらに、訓練等給付費が工賃に使えなくなる事  
で、現状のままでは、仲間の給料や労働時間を  
少なくしなければならない状態に陥る。

仲間（利用者）の給料

国



付費

職員の給料

## 共同受発注に向けた目標

障害者施設商品を流通に乗せる

共同受発注の窓口の創設

フェアトレード運動の促進

各事業所間の連携の強化

## フェアトレードとは

発展途上国の農産物や雑貨などを、適正な価格で継続的に輸入・消費する取り組み。低賃金労働を強いられる傾向のある途上国で雇用を創出し、途上国の貧困解消や経済的自立を促すねらいがある。日本では「公正な貿易」「オルタナティブ・トレード」などともよばれる。

# フェアトレード商品



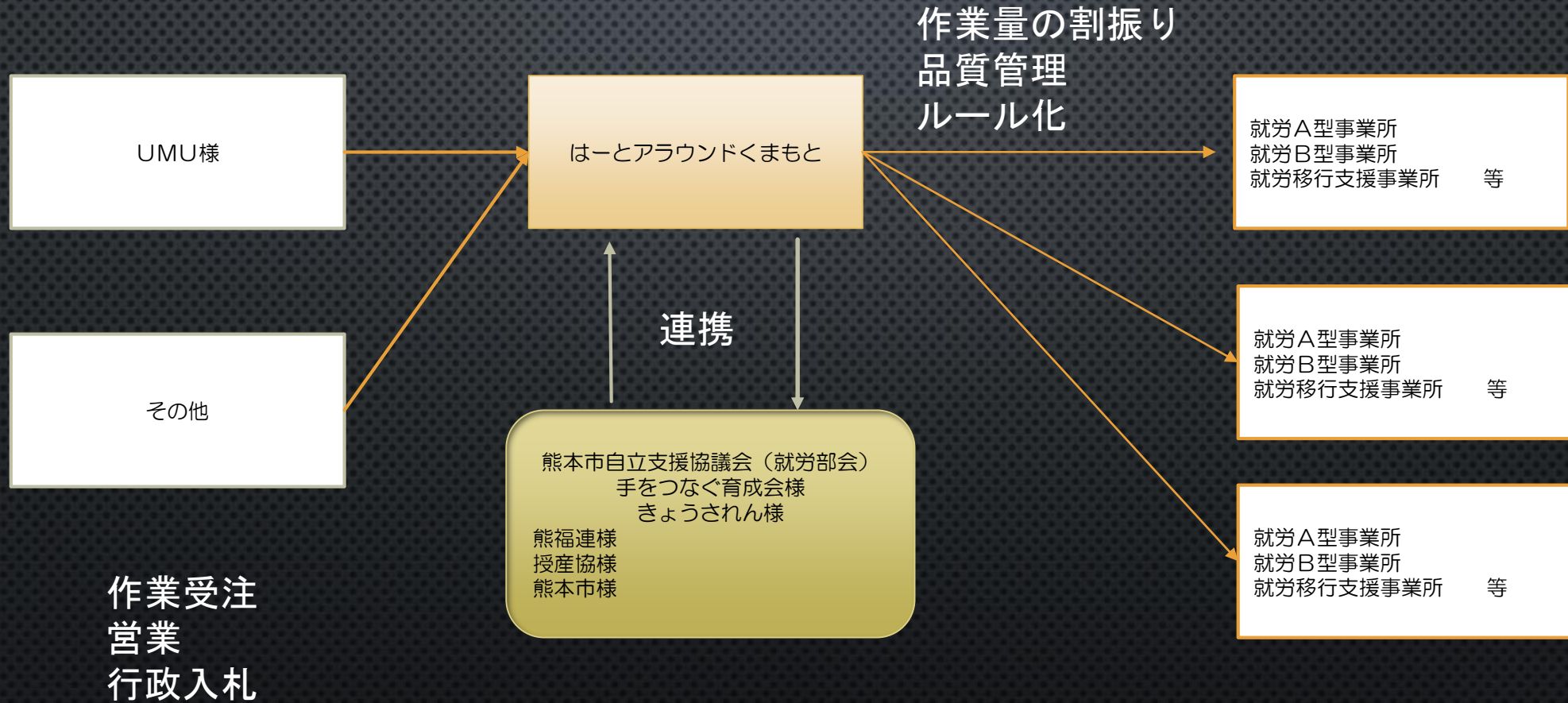
# 月額工賃を倍増にするために

## やるべきこと

- 下請作業の単価交渉
- 利用者の技術向上(効率化を図る)
- 利用者に対する合理的な配慮(職業リハビリ)
- PDCAサイクルの実施



# 共同受注窓口の創設



# 共同受注を広げる

なぜ？

- 障害の方々の仕事が増える事は、地域社会に障害者に対する理解者が増やす事になる。
- 外部の視点を取り入れ、より良い商品づくりへの一歩。
- 障害のある人が障害がない人と同じように生きる社会

# 事業所間での連携の強化

なぜ？

- より高い委託料を協働で受ける事ができる。  
(フェアトレード運動)
- 事業所間の仕事づくりの方向性を統一し、協力関係を構築できる。
- 仲間の作業内容を高める事が期待できる。

# 事業所での連携の強化

## やるべきこと

- 共同の販売会を通して、互いの商品を高めあう。
- 研修を通して得た事を内部で共有する仕組み作り。
- 運営委員会等を通しての情報の共有を行う。

# 桑原雷声堂

- カレンダーをまるめてビニールの袋に入れる作業。
- 単価・・・10円程度／1本
- 納期・・・10月末くらい
- 総数・・・7000本弱
- レトルトカレーの箱詰め作業 総数9600個
- 8個(中辛4、甘口4)ずつギフト箱に入れて、ギフト箱をさらに10箱ずつ外箱に入れる作業。
- 単価・・・8.2円／1個

# 九州フラワーサービス

## 『リラックマ花束箱詰め』

- ①リラックマのタグをカット
- ②カットしたタグに証書を貼る
- ③花束のタグをカット
- ④花束のリボンをはずす
- ⑤ラッピング用紙を幅23cm×25cmにカット
- ⑥カットしたラッピング用紙を花束に巻き、テープで留める
- ⑦花束にリボンを巻く
- ⑧花束を袋に入れる
- ⑨結束バンドを台紙の穴に通す（2本）
- ⑩台紙にリラックマをセットし、バンドで留める（2本）
- ⑪バンドの余計な部分をカット（2本）
- ⑫クリアケースを組立てる
- ⑬リラックマを入れる
- ⑭袋に入れた花束をクリアケースに入れて動かないようにテープで留める
- ⑮取説を袋に入れる
- ⑯袋に入れた取説をケースにはる
- ⑰クリアケースの左下に証紙をはったタグをつける
- ⑱段ボールを組立てる
- ⑲段ボールに6個ずつ入れる
- ⑳段ボールにJANシールをはる

<単価>56円

# 障害者施設商品の共同制作

なぜ？

- **流通に乗せる為には、大量の商品をできる仕組みが必要。**
- **材料費を共同で仕入れることにより、コスト削減に繋がる。**





# はーとアラウンドくまもとでの共同商品開発の取組

## からいも餅



江戸時代細川家のレシピ集「料理方秘」を解読し、200年前のレシピを再現しながらも、「料理方秘」※1に記されている「口伝塩梅」を心得、素材の持ち味を生かした滋味深い味付けと彩りにこだわりうまれた熊本城の「本丸御膳」を手がけた松村健司さん。

※1・・・「料理方秘」とは、1803年、肥後藩主細川家の御料理頭、村中乙右衛門が藩主のために書き記したレシピ。細川藩主の健康維持を一番に考え、また素材そのものの味を大切に考えられている。



## 分科会2

「官民一体となって創りあげるわが街くまもと」  
～ネットワークを活かして～

NPO法人 まちくらネットワーク熊本  
副理事長 桑崎 善幸



NPO法人

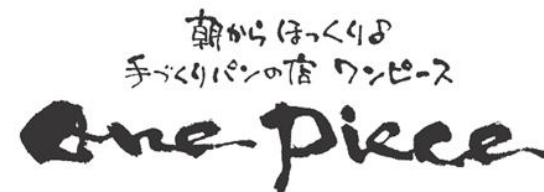
まちくらネットワーク熊本

「すべての人が、それぞれに人間として豊かに！」という理念の下、地域で暮らしながら充実した生活を望まれる障がい者の方々に対して、さまざまな角度から総合的な広義の生活支援を行う非営利活動法人



NPO法人

まちくらネットワーク熊本



## 事業概要

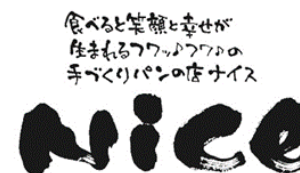
- 所在地：熊本市北区
- 就労支援センタージョイナスコーヒー
  - ・就労継続支援A型事業
  - ・就労継続支援B型事業
- ライフサポートセンターアメニティ
  - ・共同生活援助事業

### ■所在地：熊本市南区

- 一般相談支援
  - ・指定地域移行支援
  - ・指定地域定着支援
- 特定相談支援
  - ・指定サービス利用支援
  - ・指定継続サービス利用支援
- 障がい児相談支援
  - ・指定障がい児支援利用援助
  - ・指定継続障がい児支援利用援助



- 所在地：荒尾市
- 就労支援センターワンピース
  - ・就労継続支援A型事業
  - ・就労移行支援事業
- リアルビーホーム万田館
  - ・共同生活援助事業



- 所在地：宇土市
- 就労サポートセンターGAMADUS
- 就労支援センターNICE
  - ・就労継続支援A型事業
  - ・就労継続支援B型事業
  - ・就労移行支援事業
- ライフサポートセンターリアン
  - ・共同生活援助事業



MACHIPAN  
まちパン Lab



手作りが自慢の地元のパン屋さん

handmade bakery

ジョイナスコーヒー（熊本市）



ワンピース（荒尾市）



ワンピース（荒尾市）



## 市内の事業所数

就労継続支援 A 型事業所 52箇所



「同じ A 型事業所同士共有し合う情報は多い」

「困った時に話が解る・・・相談がしたい」

「熊本市（行政）との関わり合いがほしい」

**A 型事業所同士のネットワークの構築を図る必要がある。**

# AMT（A型ミーティングの開催）

3か月に一度開催され、次回  
第8回を迎える。

☆開催地は区域の持ち回りで行う

☆支援の悩み・制度改革に伴う  
知識の共有・行政を交えて意見  
交換を行っている。





# AMT（A型ミーティング）で話し合ってきたこと。

- ☆就労継続支援A型事業所の運用見直しについて  
（事業所の意見や熊本市障がい保健福祉課からの制度説明・質疑応答）
- ☆一般企業への就労支援についての考え方、現状、課題・・・。
- ☆「働いてお金を得る」ことの意識を高める支援
- ☆利用者さんとの面談方法（気を付けている点・悩み点）
- ☆利用者さんの高齢化対応・合理的配慮事項等・・・。
- ☆A型事業所の矛盾点～売上と支援について～
- ☆「〇〇で上手くいきました、失敗しました」成功事例・失敗事例

ネットワークの構築を図っていく為に・・・。

一つの事業所からの立場として・・・。

- 自立支援協議会が機能しやすいよう、事業所が先陣きって働きかけを行っていくこと  
(A型事業所や他の機関、企業が積極的に参加しやすい関係性を創る)
- 障がい者就業・生活支援センターの機能強化の為に協力を行っていくこと
- 利用者からも頼りやすい仕組みや環境であり続けること

誰のために、何のために自分たちがあるのか？

